



# うんのてん報

発行・秋田県天王町役場 TEL (天王) 1. 42. 135  
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL (一日市) 38

### 町のうごき

本籍数	4,082
本籍人口	14,130
世帯数	2,773
住民登録人口	13,185
内 男	6,521
女	6,664

9月1日現在



## ■ 収穫の秋 ■

九月中旬ごろから、あっちこちの田んぼが地ハダをあらわしはじめた。稲刈りが始まったのだ。本町は県内でも最も稲刈りの早いところ。九月中にほとんどの農家が刈り終わった。苗しろづくり、田植え、草取りと雪どけ以来、休むひまもなく農作業を続けてきた農家の人たちが、初めて顔をほころばす季節である。

重たげに頭を下げている稲——。それを見るとき、天候を心配し、病害虫を心配し、台風の不来ないことを願った毎日の苦勞を忘れさすかのようだ。秋は千四百ヘクタールの田んぼをかかえる農業の町天王が、いつも一番活気づくときである。(塩口で)



町長からハトツエを贈られる八十歳のおばあさんたち



## ■ 敬老会 ■

民謡に耳をかたむけるおじいさん、おばあさん

町は敬老の日より一週間早い九月八日、寒風山の男鹿ヘルスセンターで第十六回目の敬老会を行なった。

元気なおじいさん、おばあさん百八十二名を乗せた貸切バスは、午前十時に役場前を出発。秋涼をうけながら寒風山に登った。

敬老会では八十八歳以上のおじいさん、おばあさん五人に県知事からツルカメの置台、町長から座いすが贈られ、八十歳になった塩口の木元キサさんら九人の手に、町長からハトツエが手渡された。また天王高等技芸学校の後藤美佐子さんから最高齢者鎌田ソノさん(九十一歳「天王」)に、自製の日本人形(三味の音)が、同校生徒から八十歳以上の九人に毛糸の羽織下がそれぞれ贈られ、大喜びだった。このあと町長から長寿をお祝いすることばがのべられ、おじいさん、おばあさんは長寿の感慨を新たにしていた。

会終了後は民謡を聞きながら昼食を食べ、「来年もまた元気でいっしょになりましょう」とお互いに約束をかわしていた。

天王小学校で

第2回 産業祭

十一月一日から三日間

ことしも十一月一日から三日間、天王小学校を会場に産業祭を開催することに、九月二十六日に開かれた産業祭運営委員会で決まった。ことしは農作物全般にわたって出来がよく、出品物も昨年を大幅に上回るものと予想されている。

産業祭は、農作物を一堂に展示して、その優劣を検討し技術の向上を図るもので、産業祭と名称をかえてからことしで第二回目。昨年は異状天候にみまわれ、農家にとつては「苦しい産業祭」であったが、それでも九百

産業祭日程

△第一日(十一月一日)
▽午前九時～午後五時 出品受け付けおよび陳列。
△第二日(十一月二日)
▽午前九時三十分～午前十一時 審査員打ち合わせ会議、
▽午前十時～午後一時 審査

また、期間中は町公民館で文化祭(写真展、生花競作展、書



画展)、商工会で商工展を開催する。

産業祭協力員

- ▽二田一区 船木助太郎、▽二田二区 浅野惣太郎、▽二田三区 高橋新一郎、▽二田四区 眞壁信太郎、▽大崎上 三浦幸蔵、▽大崎中 吉田新一、▽大崎下 三浦友栄、▽羽立甲 西村由蔵、▽羽立乙 安田徳蔵、▽中羽立 菅生喜作、▽渋谷 渋谷竹治、▽塩口 桜庭新蔵、▽天王上荒町 岩谷文雄、▽天王下荒町 柏崎金右衛門、▽天王本町、曲町 京谷周太郎、▽江川上 石黒豊之助、▽江川下 伊藤兼蔵、▽児玉 児玉孝

文化祭

町公民館では産業祭の期間中同会場の天王小で写真展、生花競作展、書画展を開催する。

写真展
天王町に居住している者か、勤務

応募資格
している者であること。

発表
十一月一日から三日までの産業祭。

応募方法
①テーマ「のびゆく天王」。②サイズ キヤビネ以上、組写真八枚以内。③締め切り 十月十五日。

雄、▽蒲沼 船木兼太郎、▽下出戸 佐々木市太郎、▽細谷 菅原重喜治、▽上出戸 菊地石太郎、▽追分 高橋陸之助、▽追分西 肥田野勝、▽果樹協会 吉田吉治郎、▽養鶏組合 桜庭梅之助、▽連合出荷組合 加賀谷久治郎、▽生活改善部 鎌田ヤエノ、▽葉たばこ耕作組合 海老沢勝治。

表彰
▽推選(町長賞) 児童生徒 ①半紙の題材の書の部 ②幼稚園、小学校一年「くり」▽同二年「秋はれ」▽同三年「お月さま」▽同四年「青い空」▽同五年「入道雲」▽同六年「文化の日」▽中学校一年「秋の七草」▽同二年「交通安全」▽同三年「記念行事」。③条幅 規格および題材は自由。

書画展
児童生徒 ①半紙の題材の書の部 ②幼稚園、小学校一年「くり」▽同二年「秋はれ」▽同三年「お月さま」▽同四年「青い空」▽同五年「入道雲」▽同六年「文化の日」▽中学校一年「秋の七草」▽同二年「交通安全」▽同三年「記念行事」。③条幅 規格および題材は自由。

25日に養豚共進会
養豚の資質向上と健全な育成を促進するため、町ではことしも十月二十五日に「養豚共進会」を実施する。ことしも昨年と同じく、参加申し込みのあった豚舎を審査員が巡回して審査を行ない、入賞者は十一月三日の産業祭受賞式で同時に表彰する。

天王・上二田駅にも停車

＝朝夕の通勤・通学列車＝
10月1日から

国鉄は船川線天王、上二田両駅に、十月一日から朝夕の通勤、通学列車を停車させることになり、このほど秋鉄局からその旨の通知があった。十月のダイヤ改正を機会に利用者の要望にこたえたもので、これで乗客列車は本町の全駅に

Table with train schedules for天王 and 上二田 stations, listing arrival and departure times for various lines.

即売会
産業祭の出品物を十一月三日午後三時から会場です。即売します。

# 半数以上が棄権

## ▽参院補欠選挙

参議院補欠選挙の投票は九月十五日に行なわれたが、本町での有権者の出足は予想以上に低調で、投票率は四十四・六八パーセントにとどまった。開票の結果は谷藤氏が千五百三十五票で最多得票。ついで沢田氏が千百票を獲得。佐藤氏は三百六十七票、小川氏は二百六十票だった。

本町では、午前七時から町内九つの投票所で一斉に投票が始まったが、最初から有権者の出足は鈍く、各投票所とも人影がとぎれがち。昼過ぎと投票締め切り直前に多少にぎわいを見せたものの、結局、当日の有権者七千四百十五人のうち四千二百

している。今回の選挙に当たって、町選管と明るく正しい選挙推進協議会では、いち早く乗権防止ののりだし、とくに、投票日が近くなつてからは連日のように広報車をくりだして、「有権者は大切な一票をむだにしないよう」呼びかけを行なった。しかし、出かせぎ者の多い時

### 各候補者の得票数

候補者氏名	得票数	得票率
谷藤 征得	1,535票	47.00%
沢田 政治	1,100	33.7
佐藤 広一	367	11.2
小川 俊三	264	8.1

### 投票区別の投票率

投票区	投票率		
	男	女	計
天王	40.51%	37.11%	38.74%
江川	44.14	47.26	45.70
塩口	50.19	50.50	50.35
羽立	43.28	41.94	42.59
大崎	53.13	41.38	47.01
二田第一	50.10	43.75	46.85
二田第二	51.83	43.06	47.41
出戸	46.61	34.63	40.31
追分	58.24	43.06	50.12
合計	47.94	41.66	44.68

率が上がり、有権者の選挙に対する関心の高まりが見えていたときだけに、今回の結果は残念な感をまぬがれない。

## 七十一点が応募

### ▽明正選挙宣伝ポスター

自治省、文部省、都道府県選管、市町村選管などは共催で先に「明るく正しい選挙宣伝ポスター」を募集していたが、九月五日の締め切り日までに、本町からは小学生十一名、中学生六十名の合わせて七十一名の応募があった。

町選管ではこの作品について第一審査を行ない、小、中各五名ずつの優秀作品を第二審査(県選管)へおこした。

第一次審査入賞者は次のとおり。

- ▽小学校の部
- ▽追分小六年保坂栄治、▽同鎌田和香子、▽同鶴谷左絵子、▽同藤井文夫、▽同員田仁。
- ▽中学校の部
- ▽天王中一年渡辺悦子、▽同三年渋谷美和子、▽同二年伊藤栄子、▽同三年佐々木祐美子、▽同三年石井徳夫。

気軽にご相談を  
みなさんの中に国の行政機関

## 縦覧始まる

### ▽選挙人名簿

九月一日までに申し出のあった人で、永久選挙人名簿へ登録される人を記載した書面および、明年に選挙の予定されている海区漁業調整委員選挙人名簿の縦覧を次のとおり行ないます。

関係者は自分の名前が登録されているかどうか、必ず確かめてください。

▽選挙人名簿

▽期間 十月一日～十月十日。土、日を含む毎日午前八時三十分～午後五時

▽場所 天王町役場

▽海区漁業調整委員選挙人名簿

▽期間 十月二十日～十一月三日。土、日を含む毎日午前八時三十分～午後五時

▽場所 天王町役場

に対し、不平や不満をお持ちの方はおりませんか。もしありましたら行政相談員(本町は安田慶太郎氏)にご相談ください。

行政相談員は秋田行政監察局で行なっている行政相談の窓口として、役所仕事について困っていること、納得がいけないこと、希望することなどの相談に応じるものです。

相談の範囲は国の行政機関、政府関係機関(公社、公団、公庫など)の行なっている業務、または県や町で行なっている業務で国の委任、あるいは補助にかかる業務とされています。とくに、十月十六日から二十二日まで「行政相談週間」となっていますので、この機会をご利用ください。

## 七日から十日まで受付

次の要項で町職員資格試験を家施します。多数お申し込みください。

### ▽受験資格

(一)の①、②のうちいずれか一つの資格を有し、(二)のA、Bの欠格事項のいずれにも該当しないものであれば受験できます。(男女の区別は問いません。)

### (二)受験区分

- ①学校教育法による高等学校を昭和四十二年三月一日以降に卒業した者、または、昭和四十三年三月三十一日までに卒業見込みの者。
- ②昭和二十二年四月二日から昭和二十四年四月一日までに生まれた者。(学歴は問いません。)

### (三)欠格事項

A、日本国籍を有しないもの、禁治産者および準禁治産者、禁固以上の刑に処せられ

# 町職員採用試験

その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者、  
ニ、本町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しないもの。  
オ、日本国憲法施行の日以後において、日本憲法またはその下に成立した政府を暴

力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、またはこれに加入したものの。  
カ、本町に住所を有しないもの。

### ▽試験の方法

第一次試験と第二次試験を行います。  
【第一次試験】公務員として

必要な一般知識・技能(社会学、理科、国語、文書理解、判断推理、教務の処理、資料解釈など)について択一式による筆記試験を行ないます。  
【第二次試験】口述試験、作文、身体検査、身上調査。  
▽試験日および場所  
▽第一次試験 昭和四十二年十一月十五日(水) 秋田県自

治会館、その他。

▽第二次試験 第一次試験の合格者について昭和四十二年十二月下旬ごろ行ないます。

▽申し込み手続き、受付期間  
【申し込み用紙の請求】申し込み用紙は天王町役場に請求してください。郵便で請求する場合は封筒の表に「職員資格試験申し込み用紙請求」と朱書きあ

はしてください。郵便で請求する場合は封筒の表に「職員資格試験申し込み用紙請求」と朱書きあ

はしてください。郵便で請求する場合は封筒の表に「職員資格試験申し込み用紙請求」と朱書きあ

提出書類 ①申し込み書(所定のもの) ②一部。③受験料 ④その他  
①申し込みを受理した受験申し込み者には、受験票を交付します。  
②受験票には最近撮影した写真一葉(上半身・脱帽・正面向き、縦六センチ・横四・五センチ)をはって、第一次試験の当日持参してください。  
③この試験についてはお問い合わせは役場総務課へ。

# 教育委員に藤原氏を再任

## 九月定例会終わる

九月定例会町議会在二十七日に開かれ、次の議案を原案どおり可決して同日閉会した。

【一般会計補正予算】今回千五百四十万円追加され、四十二年度一般会計の予算総額は一億六千五百六十三万三千円となった。補正のおもなものは次のとおり。

- ▽中央公民館建設予定地購入費 百五十一万八千円。
- ▽ゴミ処理施設建設地購入費 百六十七万二千円。
- ▽県営農事業負担金 百六十六万八千円。
- ▽県土地改良事業団体連合会負担金 百二十二万八千円。
- ▽高度集団栽培事業補助金 百二十二万九千円。
- ▽中分水線舗装工事費 百五十八万円。

## 18日に記念式典

### 創立20周年の天王中

昭和二十二年四月設立以来、こととして二十周年を迎えた町立天王中学校の記念行事が今月下旬にかけて盛大に行なわれる。

まず、十月十八日午前十時半からは、関係者多数を招いて記念式典を挙げる。席上、秋山駒夫(三代校長)、児玉兼蔵(四代校長)の両氏をはじめ、小玉金蔵、渡辺俊雄、筒井スミ、加藤隆敏、渡辺市助氏らを表彰することになっている。

また、二十日過ぎには高校生と中学生の合同によるグラバン演奏会や体育祭が行なわれ、この期間中、生徒の書画、工芸などの作品展示会も催されることになっている。

学校、PTA側では、秋のとり入れも一段落する時期であり、多数の参加者があることを望んでいる。

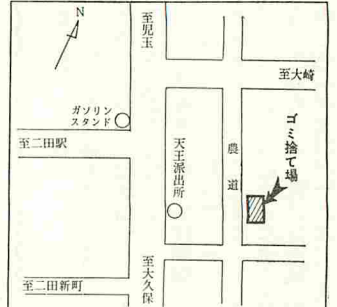
## ばくらの遊び場ができた

### 一羽立にこのほど完成



本町羽立にこのほど子ども遊び場ががつくられ、部落の子どもたちが毎日元気に遊んでいる。

共同募金二十周年記念事業として、子どもたちの健康増進、交通事故防止などをはかるため、健全な遊び場を与えるもので、



## お知らせ

略図のとらにゴミの捨て場があります。ゴミ処理にお困りの方はご利用ください。

なお、焼却できるゴミはなるべく焼却し、燃えないゴミだけ捨てるようにしてください。

本県には五年間で百数十ヶ所設置されることになっている。初年度のことしは、四十一年度の配分金で二十ヶ所につくられ、そのうちのひとつとして本町にもつくられたもの。

面積は七百二十六平方メートル(二百二十坪)で、鉄棒、すべり台、ブランコ、シーソー、雲てり(梯)の五種類の遊具が設けられ、総工費は十一万円。共同募金と町社協から三万円ずつ、地元父兄が五万円負担している。

収穫の秋を迎えた農家の人たちは、忙しさのあまりついで子ども世話がおろそかになりがちだが、遊び場ができたおかげで安心して働けると大喜び。子どもたちもブランコに乗ったり、鉄棒にぶら下がったり、元気につばい遊んでいる。

## 無袋ナシがうまい

### 試食会の結果

町果樹協会は九月十四日、農協会議室で無袋ナシの試食会を開催。三十人近い招待者に長十郎の味見をしてもらった。

有袋、無袋両方のナシをかかわるが食べる食べてもらって、その結果をアンケート用紙に記入してもらおうというもので、回収結果は、二十六人のうち二十四人までがはつきりと「無袋の方が味がよい」と解答。あとの二人は「着色が均一にならないきらいはあるが、そのほかでは有袋ナシとの差はない」と答えている。

これまでナシはク袋をかけるものという観念が強く、十アール当たり七、八千円の手間賃

## 国保税はなぜ高い

町民税は三百円なのに国保税(国民健康保険税)は五千円も六千円も課税されているというので、相談に来られる方があります。

ご承知のとおり、町民税の場合には所得控除という制度があつて、その人の所得から七項目の所得額が控除され、残った所得に課税しています。

ところが国保税の場合は、所得金額にそのまま税率をかけ、所得割、資産割、均等割、平等割の額を合計して算出しています。さらに、町民税では経費として所得から差し引かれていた専従者控除額が、国保税では所得に加算して課税されますので町民税と国保税との差がいっそう大きくなってゆきます。

以上は申告によって所得が決まるといふことですが、もし申告していないと調査認定額が決定所得となり、所得三十万円が

## まもなく受け付け

### 引揚者の特別交付金

引揚者などに対する特別交付金支給法が施行され、まもなく請求事務が開始される見込みである。

この交付金を請求できる人はことし八月一日現在日本国籍を有する人で、昭和二十年八月十

をかけた袋かけをしてきたが、数年前から試験的に無袋栽培を行なつてみたところ、薬剤散布ささつかりやれば、シンクイムシによる被害も心配なく、他の面では有袋栽培とほとんど差がないことを確認。むしろ味の点では有袋ナシよりもすぐれているため、年々無袋栽培がふえている。

この日の試食会でも、ナシ栽培者は期待どりの結果が得られたようです。今後無袋栽培はますますふえてゆくものと思われる。

五日まで外地(朝鮮、台湾、樺太、満洲、中国全土などを指す)に一年以上生活の本拠を有していた人で、同日以降、内地に引揚げたものおよび南洋群島、東インド諸島、マレイ半島、ボルネオ居住者、ならびにフィリピン諸島からの引揚者です。

交付金額は年令によって違い、昭和二十年八月十五日当時二十歳未満は二万円、二十歳以上二十五歳未満は三万円、二十五歳以上三十五歳未満は五万円、三十五歳以上五十歳未満は十万円、五十歳以上十六万円の五段階になっています。また、昭和二十二年八月十六日以前より居住していた者には、一万円加算されます。

その他くわしいことは役場の民生係へお尋ねください。

## 15日は「家庭の日」

- 農作業の分担を家族みんなできめましょう。
- 自然に親しましましょう。
- 交通事故の防止について深く考えましょう。

# 規則を守つて 「事故を絶滅しよう」

### すでに72件も発生

本町でことし一月から八月まで起きた交通事故は、実に七

十二件にも及び、死者二人、重傷者九十六人を出している。昨年同期に比べると件数、死者とも二倍、重傷者は三・三倍以上にふえ、三・四日



で一件の事故が発生し、二・五日に一人の死傷者を出したことになる。ここ二、三年交通量のいちじる増加に伴い、交通事故も激増の一途をたどっているが、最近国道や県道だけでなく町道にいたるまで交通事故の悲劇が広がっている。いつ自分や家族の身に災難がふりかかってくるかも知れないし、まったく人ごとではな

## 社会を明るくする運動推進大会

### 同時に浪曲大会も

社会を明るくする運動実施委員会、天王琴浜司法保護司会、天王琴浜社会福祉協議会では共催で「社会を明るくする運動」に伴う浪曲大会を十月五日、東湖幼稚園で開催する。

この運動は犯罪を防止するとともに、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて、犯罪

なく、青少年の非行防止は明るい社会を築くために、現在最も大切なことであり、そのためには、家庭、学校、職場、その他すべての社会環境の健全化をはかってゆかなければならないが、同時に、非行におちいった青少年が再び立ち直るよう、みんなであたたい愛の手をさしのべてゆくことが必要である。

このような目標のもとに、本

## 天王町の交通事故発生状況

(1月～8月)

月別	41年			42年		
	件数	負傷者	死者	件数	負傷者	死者
1	5	4	0	7	8	0
2	2	0	0	3	3	0
3	5	4	0	7	13	0
4	6	6	0	4	2	1
5	2	1	0	4	8	1
6	7	9	1	11	17	0
7	4	3	0	13	18	0
8	5	2	0	23	27	0
計	36	29	1	72	96	2

く、とくに、子どもの交通事故の増加は、子どもの将来に大きな夢を託している多くの親たちにも、悲しみをもたらす以外のなにものでもない。

### 小学生の無免許運転も

本町の交通事故をみるとバイクによるものが圧倒的に多い。そして、おとなの交通事故防止に対する認識の浅さに驚かされる。中学生や小学生に所用をいっつけ、バイクに平気で乗せてやるのが見受けられ、中には無免許の中学生、高校生にバイクを買って与えている親もあり、非常識というほかにない。

八、九月中だけでも高校生七人、中学生七人、小学生二人が無免許で取り調べを受けているが、このほか発見されない者が相当数あるものと思われる。

町でも町民の善意と総力を結集しよう、この日の大会を開くもの。

期日 十月五日、午後六時。

会場 天王 東湖幼稚園。

出演者 春日井梅鶯、東家菊燕(特別出演)、広沢若夫、春井梅光ほか。

入場料 当日二百五十円、前売券二百円(ポスターのかわりにある商店などにありませぬ)。

その他 今回の興業は秋田市で二ヶ所と本町以外は行なわれませぬ。

お互いに注意して一日も早くこのようなことをなくしたいものである。

### 22日から秋の交通安全運動

十月二十二日から三十一日まで

## 一日血液センターを開く

### 血液問題で懇談

去る九月五日、本町役場に「一日血液センター」が開所され二十九人が献血した。

献血後役場の会議室で血液問題についての話し合いが行なわれ、センター側から「一日血液センター」所長「の笹村ミヨ子氏(秋田県婦人連絡協議会長)、前田所長ら、本町からは同日の献血者をはじめ、児玉助役、藤原吉治郎健康推進委員保健教育部長らが出席した。

席上、本町側から①採血は現在二百CCであるが、百CCではだめなのか②採血した血液をベトナムへやっという話があるが、これに対してセンター側では①百CCでもだめだということはないが、使用する場合二百CCが単位であり、健康診断後に採血しているので二百CCでも身体に異状はない。外国ではほとんどが一回に四百CCを採

の十日間、秋の交通安全運動がくりひろげられるが、期間中は次の三つに重点が置かれる。

- ①歩行者の交通事故の絶滅。
- ②すべての歩行者、運転者、運転者の雇い主その他道路交通に関係ある者に、正しい交通ルールの実践を習慣づける。
- ③道路交通環境の整備改善の促進。

みんな進んで交通安全運動に参加し、私たちの町を交通事故のない平和な町にしましょう。

×	×	×
×	×	×
×	×	×

### 来月五日に駅伝大会

恒例の町制施行記念駅伝大会をことしは町の主催で、十一月五日に行なう。本町に町制がされた昭和二十六年以来毎年行なわれてきたもので、ことしは第十六回目の大会。

当日は、午前十時に追分三ツ路を出発。上出戸、下出戸を通って二田にはいり、二田から江川に抜け、天王、湖岸部を通過して役場前が決勝点。ほほ町内を一周する。コースは十一区間二十二・二七キロメートルで、最長は農業高等学校園入口―二田神社間の二・八キロメートル、最短は東湖幼稚園前―東湖小間の一・二七キロメートルとなっている。

大会要項は次のとおり。

【チーム編成】 部落単位でチームを編成し、十二、十五歳二人、十六、二十歳三人、二十一、二十五歳三人、二十六、三十歳二人、三十一歳以上一人の計十一人で一チームとする。

【コース】 追分三ツ路―①二・四km―相互銀行野球場前―②二・五km―出戸浜入口―③一・七km―農業高等学校園入口―④二・八km―二田神社前―⑤一・四km―役場前―⑥二・六km―東湖幼稚園―⑦一・二七km―東湖小―⑧一・九四km―塩口分館前―⑨一・七二km―羽立上バス停―⑩一・六九km―大崎神社前―⑪二・一三km―役場。

【入賞】 三位まで。他にラップ賞がある。

### 献血ありがとう

九月五日【農協】 斎藤力、吉田正己、大関弘子、藤原順子、戸田金一郎、山方武治、佐々木幸蔵、桜庭進、菊地貞男。【技芸学校】 三浦勝子、桜庭秋子、高桑セツ子、丸谷マリ子、鹿内洋子、下間洋子、三浦美代、柏崎久美子、石井威志子

吉田喜代子。【二田】 畠山好子【土地改良】 桜庭東洋、畠山澄雄。【共済】 鈴木歌子。【天王中】 越後谷金雄。【役場】 船山毅、武藤キクエ、武藤守、中泉作右エ門、渡辺毅。

